

令和5年度学校評価

本年度の重点目標	1 生徒が安全で安心して高校生活が送れるよう努める。 2 「主体的・対話的で深い学び」を実践するための情報収集や意識改革に努めるとともに、生徒が目指す進路希望の実現に向けた協力体制の充実に努める。 3 礼節を重んじ、自らを律し、心豊かな生活を築く態度を養う。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 （教務・情報部） （進路指導部） （各学年会）	新学習指導要領をふまえた授業研究	評価のあり方を研究し、授業改善に取り組む。成績のスムーズな処理・確認の時間を保つ。	I C T の活用や創意工夫ある授業実践を目指し、積極的に公開授業を含めた授業改善の機会が増えてきた。
	生徒の進路選択の能力と態度の育成	進路相談室の利用促進を図る。資料・問題集の整備を行う。	レベルの高い目標を設定させ、その実現に向け努力できる道筋等を立てて取り組ませた。
	3 学年共通した進路指導が継続するようにする。	進路から様々な情報を提示し、学年団と連携した進路指導を実践する。	最終の3 学年につながるように、1・2 年次から教員の意識向上を図る必要がある。
生徒指導 （生徒指導部） （総務・図書部）	盗難防止	盗難防止の徹底を図る。	クラスの防犯意識は高くなっているが、部活動ではまだ意識の低さが見られる。
	いじめ防止対策	いじめアンケートにより、早期発見、適切な事案対処。	いじめアンケートや生徒面接、日常の観察等で気づいたことは早期に対応する。
	防災意識の向上	消防署等と連携して防災訓練の内容を充実させる。	夏季休業中に実施しているので、もう少し早い時期に実施する。
生徒会活動 （生徒会部） （各学年会）	ボランティアのあり方、意義とマナーの意識付け	ボランティア活動の内容の検討・充実を目指す。	ボランティア活動は町などと連携して実施できた。また、福祉講話を実施し、より一層意識の向上を図った。
環境教育 （保健厚生部）	校内環境の美化と整備	日々の清掃の徹底を行う。生活委員会の活性化を図る。	ゴミの分別を周知する必要があった。生活委員は熱心に活動できた。
教育相談 （生徒指導部） （保健厚生部） （各学年会）	教育相談の充実	生徒の抱える問題の早期発見・解決に向けた対応の充実を図る。	S C を始めとした相談体制の確立は、次年度以降も大きな課題である。相談人数の増加に伴い、それに対応できる体制強化を図る必要がある。
学校図書館 （総務・図書部）	読書教育の強化	各教科や学年と連携し、図書の貸出数を増やす。	活字離れが進む中、図書委員を中心に本の紹介や図書館だよりの発行などの啓蒙活動を広く行った。
P T A 活動 （総務・図書部）	P T A 行事の円滑な運営	総会、学校行事等において積極的な参加を募る。	P T A 役員・理事の方の前向きな取組があり、大変ありがたかった。また、行事等の参観は多くの保護者が来校した。
情報 （教務・情報部）	校務支援システムへの移行	校務支援システムの3 学年運用を円滑にする。	昨年度導入され、今年度が2 年目。そのため、昨年度の反省を踏まえて円滑に運用できた。
国際理解教育 （教務・情報部）	国際理解教育の推進	海外E S C , 外部講師の活用を推進する。	海外E S C が再開できた。研修場所をオーストラリアに変更。国際理解では、外部講師も活用でき、よい刺激となった。
コロナ対応 （保健厚生部）	換気・手洗い・消毒等の徹底	日常の感染症対策を徹底して学校生活を円滑に行う。	5 類に移行したが、継続して基本的な対策を徹底した。保健委員による換気を促す放送など熱心に活動した。
外部との連携 （生徒指導部他）	町や保護者と連携した活動の充実	保護者と連携を図り、阿久比町や外部機関の連携や協力を図る。	総務図書部、教務情報部、生徒指導部、進路指導部、生徒会部など多くの分掌で地域や保護者と連携を図り、また、外部講師を招聘し効果を上げた。
勤務時間の適正な管理 （教頭）	在校時間記録の活用と業務の適正化	校内業務内容の精選を図り、軽減や分担を図る。	昨年度より在校時間は減少した。しかし、学期始めや部活動の公式戦が重なると、どうしても在校時間が増加してしまう。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		・地域からさらに信頼される学校づくり ・明るく元気で、心身ともにたくましい生徒の育成 ・職員の健康障害防止と活力に満ちた職場づくり	